

2027年度大学院入学試験(2026年度実施)

東京大学

大学院工学系研究科

電気系工学専攻

入試案内書

AY2027 Guide to Entrance Examinations,
Department of Electrical Engineering and Information Systems (EIS),
Graduate School of Engineering, The University of Tokyo

【注 意】

本年度実施の入試では、専門(学術)科目は対面、口述試験はオンラインで行います。
本案内書の内容を変更する場合は、専攻ウェブサイトで公表しますので、随時確認して下さい。

2027年度大学院入学試験(2026年度実施)

東京大学

大学院工学系研究科電気系工学専攻

入試案内書

修士課程 入学試験案内	03
出願日程A 博士後期課程 入学試験案内	06
出願日程B 博士後期課程 入学試験案内	09
入学試験受験者心得[修士課程および博士課程後期日程(出願日程A)]	11
TOEFLのスコア提出について	12

修士課程 入学試験案内

1 試験日程／試験方法等

試験	日時	試験場所	持参品	備考
予備選抜	専攻調査票の記載内容および成績表に基づき、予備選抜を行います。			2(1)を参照
修士特別口述試験	7月18日(土) 8:00～18:00	オンラインで実施します。	*パーソナルコンピュータ *ウェブカメラ *ブロードバンドインターネット接続環境	希望受験者のみ 2(2)を参照
英語 (TOEFL)	提出期限 8月20日(木)	TOEFLのスコアをもって英語の試験とします。出願時にAppointment Numberと受験日を工学系研究科の出願システムに入力してください。		提出の条件は12ページを参考
専門科目 (電気電子工学・情報工学)	8月31日(月) 受験者集合時間 8:30 試験時間 9:00～11:30	工学部2号館 241号講義室 242号講義室 243号講義室 (予定)	受験票、黒色の鉛筆(またはシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り、定規、時計(計時機能だけのもの)。なお携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や、電卓・辞書の使用は認めません。また、ボールペンの持ち込みを認めません。	2(3)を参照
口述試験	8月31日(月) ～9月3日(木) 8:00～18:00	オンラインで実施します。受験票発送時に通知する「受験者専用ページ」で会場URLを通知します。	オンラインで行います。以下の機材を各自で用意してください。 *パーソナルコンピュータ *受験者を撮影するウェブカメラ *ブロードバンドインターネット接続環境	2(4)を参照

※修士特別口述試験において選抜された者は英語および専門科目筆記試験が免除されます(ただし通常の口述試験は免除されません)。それ以外の受験者は、専門科目筆記試験と口述試験の両方を受験しないと受験が無効となります。

- * 本年度実施入試では、一般教育科目(数学)の筆記試験は行いません。
- * 専門科目および口述の試験の詳細は、受験票同封物に記載してある「受験者専用ページ」で公開します。
- * 2026年9月4日(金)は修士課程受験者に対する試験はありません。

2 試験科目の内容

(1) 予備選抜

志願者が多数の場合、専攻調査票の記載内容および成績表に基づき、予備選抜を行います。予備選抜の合格者に対して筆記・口述試験が行われます。なお、審査基準についてのお問い合わせにはお答えできません。予備選抜の有無または結果は、2026年8月14日(金)までに専攻入試ウェブページに掲載します。

(2) 修士特別口述試験(希望受験者のみ)

書類選考によって成績等が優秀と判断されて、かつ本専攻への入学を第一志望とする者に対して、

修士特別口述試験を行います。当試験において選抜された者は、一般入試の英語試験と専門科目の筆記試験が免除されます。ただし通常の口述試験は免除されません。

受験票同封物に記載してある「受験者専用ページ」のオンライン試験の詳細を参照の上、受験票と試験に必要な機材を準備して下さい。志望分野とその理由のほか、その分野に関する基礎的知識について質問します。また、卒業研究の内容や、専攻調査票(5を参照)の内容に関して質問する場合もあります。

(3) 専門科目 (電気電子工学・情報工学)

電気電子工学と情報工学の研究を行うために必要な基礎的な学力を問う内容です。試験問題は日本語または英語で出題されます。解答は日本語または英語とします。

以下の専門科目の出題範囲から2問を選択解答します。解答時間は2問合わせて150分です。

電磁気学、電気回路、情報工学Ⅰ、情報工学Ⅱ、固体物性、制御・電気エネルギー工学

試験内容の詳細や過去の問題については専攻ウェブページ(<http://www.eeis.t.u-tokyo.ac.jp/>)を参照してください。また、サンプル問題がウェブページに掲載されていますので、参考にして下さい(工学部プリントセンターでは販売しません)。

(4) 口述試験

口述試験はオンラインで行います。受験票同封物に記載してある「受験者専用ページ」のオンライン試験の詳細を参照の上、受験票と試験に必要な機材を準備して下さい。志望分野とその理由のほか、その分野に関する基礎的事項について質問します。また、卒業研究の内容を口頭で紹介してもらうことや、専攻調査票(5を参考)および筆記試験答案の内容に関して質問する場合もあります。

上記(2)で選抜された者に対する口述試験では、(2)での試験の内容や卒業研究の進捗などについて質問します。

3 指導教員希望調査

指導を希望する教員の選好順序を出願時にオンラインで登録してもらいます。指導教員一覧は専攻Webサイト(<https://www.eeis.t.u-tokyo.ac.jp/staff/>)を参照してください。「東京大学安全保障輸出管理規則」に基づき、応募内容が規制対象に該当する場合には、希望する指導教員への配属が制限されることがあります。配属は、筆記試験および口述試験の成績、提出書類の内容、志望指導教員等を総合的に勘案して決定します。また、専攻Webサイト掲載の研究室に所属する大学院外国人研究生は、志望調査において現在の所属研究室の教員を第1志望としてください。電気系工学専攻修士課程合格内定者には、指導教員をただちに内定し通知を行います。万が一入学を希望しない場合は、その旨を工学系研究科学務課大学院チーム宛書面(入学辞退届)にて速やかに連絡してください。

4 注意事項

電気系工学専攻では工学系研究科の定める要件を満たす合格者に対しては、10月入学を認めています。ただし、在留資格の新規取得には、入学許可書交付から3ヶ月程度かかるのが通例であり、10月入学に間に合わない場合があります。入学にあたり新たに本学で在留資格認定証明書交付申請の必要がある者は、4月入学の選択を検討してください。電気系工学専攻では、受験時の入国ビザの取得手続きに関するサポートはいたしません。入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがあります。

5 2027年度電気系工学専攻調査票(修士用)の記入について

専攻調査票のフォームをダウンロードし、必要事項を記入してください。予備選抜および口述試験の資料とするため、修士課程で希望する研究内容について記入してください。また、卒業研究のテーマ、卒業後の進路に関する構想も記入してください。

6 学部等での成績証明書と成績集計表の提出について

予備選抜や、口述試験、合否判定の資料として用いますので、本専攻の受験者*は、学部等での成績証明書を提出してください。また、証明書の記載内容を、成績集計表に要約し、証明書とともに提出してください。記入にあたっては、注意事項をよく読んで、誤りのないように記入してください。

* 本専攻では、工学系研究科の募集要項に追加して、本学工学部卒業(見込)者にも成績証明書の提出を求めているので注意してください。

7 安全保障輸出管理について

東京大学では、「外国為替及び外国貿易法(外為法)」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から学生の受入れ前及び在学中に、厳格な安全保障輸出管理を行っています。特に外国人留学生及び一部の日本人学生については、受入れ前の審査を必須としています。従って、外為法上規制されている事項に該当する場合は、たとえ入学試験の選抜により最終合格しても、その後入学が許可できない場合や、入学後の希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。なお、詳細については、本学安全保障輸出管理支援室 Web サイト(<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/export-control/ja/rule.html>)を参照してください。

8 他大学または他分野出身の志願者へ

東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻では、入学者の多様性を確保することを重視しています。電気電子工学や情報工学のみならず、物理学、材料工学、化学、エネルギー・環境工学、制御工学、宇宙工学など幅広いバックグラウンドを持つ人材を集結して、地球規模の課題解決・新たな価値の創造に資する人材を養成することを目指しています。その一環で、2020年度実施の入試から、専門科目の問題構成を見直して問題数を削減し、電気系関連以外の教育を受けた方々も幅広く受験いただけるようになりました。国内外の様々な大学・学科から、多様な知識、経験、研究興味を持つ人材を求めています。

出願日程 A

博士後期課程 入学試験案内

1 試験日程／試験方法等

試験	日時	試験場所	持参品	備考
英語 (TOEFL)	提出期限 8月20日 (木)	TOEFLのスコアをもって英語の試験とします。出願時にAppointment Numberと受験日を工学系研究科の出願システムに入力してください。提出の条件については12ページを参照してください。		
専門学術科目 (電気電子工学・ 情報工学)	8月31日 (月) 受験者集合時間 8:30 試験時間 9:00～11:30	工学部2号館 241号講義室 242号講義室 243号講義室 (予定)	受験票、黒色の鉛筆(またはシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り、定規、時計(計時機能だけのもの)。なお携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や、電卓・辞書の使用は認めません。また、ボールペンの持ち込みを認めません。	2(1-1)を参照
口述試験	9月4日 (金) 8:00～18:00 (予定)	オンラインで実施します。受験票発送時に通知する「受験者専用ページ」で会場URLを通知します。	オンラインで行います。以下の機材を各自で用意してください。 *パーソナルコンピュータ *ウェブカメラ *ブロードバンドインターネット接続環境	2(1-2)を参照。研究計画書を出願書類とともに提出してください。

※筆記試験と口述試験の両方を受験しないと、受験が無効となります。

- * 本年度実施入試では、一般教育科目(数学)の筆記試験は行いません。
- * 専門科目および口述試験の詳細は、受験票同封物に記載してある「受験者専用ページ」で公開します。
- * 電気系工学専攻、新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻、情報理工学系研究科電子情報学専攻の在学生に対しては、9月4日(金)以前に口述試験を実施する場合があります。
- * 本学大学院工学系研究科の電気系工学専攻と電気・電子工学専攻、新領域創成科学研究科基盤情報学専攻および先端エネルギー工学専攻、情報理工学系研究科電子情報学専攻の修士課程を修了した者および修了見込みの者は、英語、専門学術科目(電気電子工学・情報工学)の受験を要しません。
- * 本学大学院工学系研究科の修士課程を修了した者および修了見込みの者は、英語の受験を要しません。
- * 上記の専攻以外についても、本学大学院修士課程修了者は筆記試験免除の対象となる場合があります。該当する可能性があり免除を希望する場合は、必ず6月4日(木)までにeeis-nyushi27-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jpまでお問合せください。

2 学術試験の内容

(1) 第1次試験

本年度の大学院博士後期課程入試の試験内容は下記の通りです。

(1-1) 専門学術科目(電気電子工学・情報工学)

電気電子工学と情報工学の研究を行うために必要な基礎的な学力を問う内容です。本年度実施入試では、試験問題は日本語または英語で出題されます。解答は日本語または英語とします。

以下の専門学術科目の出題範囲から2問を選択解答します。解答時間は2問合わせて150分です。

電磁気学、電気回路、情報工学Ⅰ、情報工学Ⅱ、固体物性、制御・電気エネルギー工学

試験内容の詳細については専攻ウェブページ(<http://www.eeis.t.u-tokyo.ac.jp/>)を参照してください。また、サンプル問題がウェブページに掲載されていますので参考にしてください(工学部プリントセンターでは販売いたしません)。

(1-2) 口述試験

口述試験はオンラインで行います。受験票同封物に記載してある「受験者専用ページ」のオンライン試験の詳細を参照の上、受験票と試験に必要な機材を準備して下さい。受験者には、各自の修士論文またはそれに代わるもの(現在進行中の場合は修士論文として予定しているもの)および博士課程入学後の研究計画について発表してもらいます。その後、その内容についての口頭試問を行います。また、上記(1-1)の筆記試験答案の内容に関する質問をする場合もあります。発表時間は当日担当教員が指示しますが、目安は約20分です。発表資料は、後日連絡するURLに事前にアップロードして頂きます。

(2) 第2次試験

第1次試験の合格者で、同試験実施時点で修士課程修了見込みの者に対して、2027年1月末～2月上旬(予定)に、各自の修士論文を中心とした口述試験を行います。詳細な日程は別途通知します。なお、2026年10月入学希望者に対する第1次試験は第2次試験を兼ねますので、第2次試験は別日程では実施しません。

3 提出書類

出願の際には、「志望する指導教員の受入承諾書」、「博士後期課程研究計画書」、および「所属長の承諾書」(該当者のみ)をほかの必要書類と一緒に必ず提出してください。

(1) 志望する指導教員の受入承諾書

受入承諾書は専攻で指定された形式になっており、指導予定教員自身が入手して、入力、署名したもの(スキャンした電子ファイルやコピーでも可)を受験者が願書と共に提出する必要があります。指定された形式以外の受入承諾書は認められません。指導予定教員に問い合わせてください。

(2) 博士後期課程研究計画書

博士後期課程における研究計画として、「どのような研究方法で、何をどこまで明らかにしようとするのか」についてフォームをダウンロードして記入してください。博士後期課程において行いたい研究内容については、あらかじめ志望する指導教員と十分に相談してください。博士後期課程研究計画書は、指定されたURLに事前にアップロードしてください。

(3) 所属長の承諾書(該当者のみ)

博士後期課程には出席が必要な必修の講義や演習などがあります。社会人で在職の身分のまま入学を希望する場合は、入学後学業に支障がないよう配慮する旨の所属長の承諾書を提出してください。工学系研究科配布の募集要項における該当箇所も参照してください。

4 注意事項

上記『提出書類(1)～(3)』が願書に完備されていない場合は、無効とすることがあります。入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがあります。電気系工学専攻では、受験時の入国ビザの取得手続きに関するサポートはいたしません。

5 指導教員について

電気系工学専攻博士後期課程合格内定者に対して、指導教員をただちに内定します。博士後期課程を志願する者は、あらかじめ出願期間よりも前に、志望する指導教員と十分に連絡を取っておってください。

6 安全保障輸出管理について

東京大学では、「外国為替及び外国貿易法(外為法)」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から学生の受入れ前及び在学中に、厳格な安全保障輸出管理を行っています。特に外国人留学生及び一部の日本人学生については、受入れ前の審査を必須としています。従って、外為法上規制されている事項に該当する場合は、たとえ入学試験の選抜により最終合格しても、その後入学が許可できない場合や、入学後の希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。なお、詳細については、本学安全保障輸出管理支援室 Web サイト (<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/export-control/ja/rule.html>) を参照してください。

1 試験日程／試験方法等

試験	日時	試験場所	持参品	備考
英語 (TOEFL)	提出期限 1月6日(水)	TOEFLのスコアをもって英語の試験とします。出願時にAppointment Numberと受験日を工学系研究科の出願システムに入力してください。提出の条件については12ページを参照してください。		
専門学術科目 (電気電子工学・ 情報工学)	1月19日(火) 13:30～15:30 (予定)	工学部2号館 245号講義室 (予定)	受験票、黒色の鉛筆(またはシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り、定規、時計(計時機能だけのもの)。なお携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や、電卓・辞書の使用は認めません。また、ボールペンの持ち込みを認めません。	2(1-1)を参照
口述試験	1月20日(水) ～1月21日(木) 8:00～18:00 (予定)	オンラインで実施 します。受験票発 送時に通知する 「受験者専用ペー ジ」で会場URLを通知 します。	オンラインで行います。以下の機 材を各自で用意してください。 *パーソナルコンピュータ *ウェブカメラ *ブロードバンドインターネット 接続環境	2(1-2)を参照。 研究計画書を出 願書類とともに提 出してください。

※筆記試験と口述試験の両方を受験しないと、受験が無効となります。

- * 本年度実施入試では、一般教育科目(数学)の筆記試験は行いません。
- * 電気系工学専攻、新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻、情報理工学系研究科電子情報学専攻の在学生に対しては、別途口述試験を実施する場合があります。
- * 本学大学院工学系研究科の修士課程を修了した者および修了見込みの者は、英語の受験を要しません。
- * 本学大学院工学系研究科の電気系工学専攻と電気・電子工学専攻、新領域創成科学研究科基盤情報学専攻および先端エネルギー工学専攻、情報理工学系研究科電子情報学専攻の修士課程を修了した者および修了見込みの者は、英語、専門学術科目(電気電子工学・情報工学)の受験を要しません。
- * 上記の専攻以外についても、本学大学院修士課程修了者は筆記試験免除の対象となる場合があります。該当する可能性があり免除を希望する場合は、必ず10月末までにceis-nyushi27-group@g.eccu-tokyo.ac.jpまでお問合せください。
- * 専門科目および口述試験の詳細は、受験票同封物に記載してある「受験者専用ページ」で公開します。

2 学術試験の内容

(1) 専門学術科目(電気電子工学・情報工学)

試験は記述式で実施します。希望する指導教員の専門分野における研究に必要な基礎知識を問う内容を出題します。問題は英語で出題され、解答は英語または日本語で行います。受験方法については、受験票同封物に記載してある「受験者専用ページ」を参照してください。

(2) 口述試験

口述試験は全受験者が対象です。口述試験はオンラインで行います。受験票同封物に記載してある「受験者専用ページ」を参照の上、受験票と必要な機材を準備して下さい。上記(2)専門学術科

目受験者には、問題に関連した質問を行います。また、全受験者に、各自の修士論文またはそれに代わるもの(現在進行中の場合は修士論文として予定しているもの)および博士課程入学後の研究計画について発表してもらいます。発表時間は当日担当教員が指示しますが、目安は約20分です。その後、その内容についての口頭試問を行います。発表資料は、後日連絡する URL に事前にアップロードして頂きます。

3 提出書類

出願の際には、「志望する指導教員の受入承諾書」、「博士後期課程研究計画書」、および「所属長の承諾書」(該当者のみ)をほかの必要書類と一緒に必ず提出してください。

(1) 志望する指導教員の受入承諾書

受入承諾書は専攻で指定された形式になっており、指導予定教員自身が入手して、入力、署名したもの(スキャンした電子ファイルやコピーでも可)を、受験者が2026年10月末までに入手してください。指定された形式以外の受入承諾書は認められません。指導予定教員に問い合わせてください。

(2) 博士後期課程研究計画書

博士後期課程における研究計画として、「どのような研究方法で、何をどこまで明らかにしようとするのか」についてフォームをダウンロードして記入してください。博士後期課程において行いたい研究内容については、あらかじめ志望する指導教員と十分に相談してください。博士後期課程研究計画書は、指定された URL に事前にアップロードしてください。

(3) 所属長の承諾書(該当者のみ)

博士後期課程には出席が必要な必修の講義や演習などがあります。社会人で在職の身分のまま入学を希望する場合は、入学後学業に支障がないよう配慮する旨の所属長の承諾書を提出してください。工学系研究科配布の募集要項における該当箇所も参照してください。

4 注意事項

上記『提出書類(1)～(3)』が願書に完備されていない場合は、無効とすることがあります。入学者選抜に用いた試験情報は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがあります。電気系工学専攻では、受験時の入国ビザの取得手続きに関するサポートはいたしません。

5 安全保障輸出管理について

東京大学では、「外国為替及び外国貿易法(外為法)」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から学生の受入れ前及び在学中に、厳格な安全保障輸出管理を行っています。特に外国人留学生及び一部の日本人学生については、受入れ前の審査を必須としています。従って、外為法上規制されている事項に該当する場合は、たとえ入学試験の選抜により最終合格しても、その後入学が許可できない場合や、入学後の希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。なお、詳細については、本学安全保障輸出管理支援室 Web サイト(<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/export-control/ja/rule.html>)を参照してください。

入学試験受験者心得

[修士課程および博士後期課程(出願日程A)]

1 試験日	2026年7月18日(土)(修士特別口述のみ) 2026年8月31日(月)～9月4日(金)(9月4日(金)は修士課程受験者に対する試験はありません。)
2 試験方法	専門学術科目(電気電子工学・情報工学)は対面、口述試験はオンラインで行います。各自が受験すべき科目の試験室やオンライン試験のアクセス先 URL などの詳細は、受験票同封物に記載してある「受験者専用ページ」で公開します。
3 筆記試験時の留意事項	(1) 試験開始後は、解答が終わった場合でも、また、受験を放棄する場合でも退室は許されません。 (2) 試験時間中は、受験票を常に机の上に置いてください。
4 口述試験時の留意事項	指定日の口述試験実施時間中に受験しない場合は、受験そのものを放棄したとみなします。
5 博士課程第2次試験	第2次試験は、原則として2027年1月下旬～2月上旬とし、期日・場所は追って通知します。
6 問い合わせ先	〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 大学院工学系研究科 電気系工学専攻事務室 E-mail: eeis-nyushi27-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
7 その他	(1) 合格者は2026年9月10日(木)16時頃本研究科 Webサイト (https://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general-fee)に掲載する予定です。 (2) 合格者へは翌日以降に、工学系研究科から入学許可書がメールで送付されます。電話による合否の照会には応じません。 (3) 出願後、現住所、メールアドレス、受信場所等に変更が生じた場合には、速やかに届け出てください。

TOEFL のスコア 提出について

出願時に TOEFL iBT^{*1} 又は TOEFL iBT Home Edition^{*2} の Appointment Number と受験日を研究科の出願システムに入力してください。Appointment Number の提出がない場合は、それだけで不合格となることがあります。WEB 出願システムに登録した Appointment Number ・受験日及び Test Taker Score Report は、下記に示す TOEFL 提出期限内であれば何度でも変更が可能です。

※1 TOEFL iBT の受験申し込み方法は、ETS の Web サイトで各自確認してください。

※2 TOEFL iBT Home Edition の使用機器 ・ 受験環境 ・ 受験申し込み方法は、ETSのWebサイトで各自確認してください。

次の指定された年月以降に受験したTOEFLのスコアが必要です。

2024年9月以降[修士課程、博士課程(出願日程A)]、 2025年2月以降[博士課程(出願日程B)]

TOEFL提出期限:8月20日(木)[修士課程、博士課程(出願日程A)]、 1月6日(水)[博士課程(出願日程B)]

工学系研究科の一般入試のWebサイト(<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/study-at-utokyo/soe/apply/guideline>)の「外国語試験(英語)について」を参照。

本冊子の問い合わせ先
For inquiries or information

.....
東京大学大学院工学系研究科
電気系工学専攻事務室

住 所: 〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1
E-mail: eeis-nyushi27-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp